



Educational Program: Children's Workshop

子どものアトリエ プログラム

2026.10－2027.3



📄 「学校のためのプログラム」のご紹介②

横浜市内の学校を対象に、造形や鑑賞の活動をおこなう「学校のためのプログラム」。今回は、小学校個別支援学級を対象とした活動をご紹介します。

アトリエでは、絵の具・粘土・紙の各コーナーで自由に造形活動をおこなうことができます。例えば紙コーナーでは、帯状のカラフルな紙を素材に造形に取り組みます。ステープラーを使って王冠やお花をつくったり、輪っかをどこまでも長く繋げてみたりと、何をつくるかは子どもたち次第。自分で素材を選び、試行錯誤しながら取り組む子どもたちの顔は真剣そのものです。いろいろな素材に触れることは、自分の興味関心を知るきっかけになるはずです。

展示室での鑑賞活動では、エドゥケーターとともに楽しみ方やマナーを学びながら、子どもたちのコンディションに即したルートで美術館を巡ります。友達とおしゃべりしながら作品を見たり、作品と同じポーズをとってみたい。様々な方法で鑑賞すると、最初は緊張していた子どもたちもプログラムの最後には、「もっと作品を見たい」「また美術館に来たい」と感想を伝えてくれます。

学校とは異なる空間や、つくったりみたりすることに集中する時間を通して、美術や美術館を身近な存在に感じてほしいと思っています。



カラフルな紙を使ってなにをつくろうかな？



彫刻作品のまねっこ！同じポーズを5秒間キープしてみよう

● 横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【企画展】

マリー・アントワネット・スタイル

2026年8月1日(土)ー11月23日(月・祝)

休館日＝木曜日(8月13日、9月24日、11月19日は開館)

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット。王妃の装いやインテリアは、ファッションから映画まで、広く影響を与えてきました。18世紀に王妃がつくりあげた「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

フランソワ＝ユベール・ドルーエ《コートドレスのマリー・アントワネット》1773年
ヴィクトリア&アルバート博物館所蔵
©Victoria and Albert Museum, London



【企画展】

毛利悠子 Recompose

第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館帰国展

2026年7月24日(金)ー11月23日(月・祝)

休館日＝木曜日(8月13日、9月24日、11月19日は開館)

国内外で目覚ましい活躍をみせるアーティスト、毛利悠子(1980年神奈川県生まれ)。2024年の第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館で開催され、大きな話題を呼んだ個展「Compose」が、横浜に凱旋します。日用品や自然物、機器を介して、不規則な動きや光、音を生み出すインスタレーション作品群。ヴェネチアでの展示から2年を経て、横浜で再構築(recompose)される毛利悠子展にご期待ください。



【コレクション展】

海をこえてゆく彼女

2026年8月1日(土)ー2027年2月11日(木・祝)

※ただし11月24日(火)ー12月10日(木)は閉室

休館日＝木曜日(8月13日、9月24日、11月19日、2月11日は開館)、
12月29日ー1月3日

企画展の主役、マリー・アントワネットにちなみ、国境をこえて活躍した女性たちに着目します。とりわけ本展では、20世紀の世界を舞台にしながら、そしてたくましく生きた女性たちの創作をたどります。グローバリゼーションのうねりのなかで生まれた彼女たちの作品にやどる生命力に、どうぞ注目ください。



吉田ふじを《伊国ヴェニス市 ドーテの宮殿》
1906年、吉田千鶴子氏寄贈

子どものアトリエってどんなところ？

自分の目でみて、自分の手でふれ、自分でやってみよう！

横浜美術館子どものアトリエは小学校6年生（12歳）までの子どもたちを対象とした創造の場です。

「描く・つくる・みる」体験を通して、子どもたちの主体性を育むプログラムを提供しています。

自分で試行錯誤しながらつくってみること。

作品を前に、自分の気持ちや感じたことを言葉にしてみることに。

アートとの出会いを通じて、子どもたちが自分自身と向き合いながら、

「やってみたい！」という気持ちを引き出すことを目指しています。

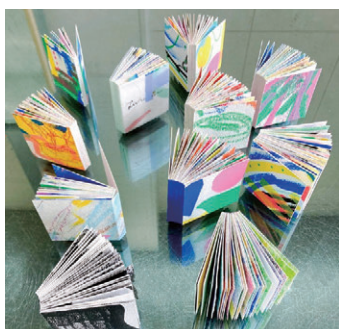
お申し込みは
ウェブサイトから

詳しくは裏面をご覧ください

個人の造形 プログラム

事前申込制 有料

さまざまな素材の特性や技法を、学齢に応じた方法で学ぶプログラムです。講師の指導のもと、つくることにじっくりと取り組みたい子どもたちにおすすめです。複数の日程があるプログラムは、全日程の出席が必要です。



10月 切る／並べる／綴じる 小さい本を作ろう

常田泰由（アーティスト）

1回 小学校4・5・6年生

たくさんの選択肢のなかから「選ぶ」ことや、複数のものを「組み合わせる」こと、そして、その「順番を決める」こと、迷ったり、試したりする過程も「つくる」ことなのです。描いた絵を一度切り分け、交換による交流を楽しみながら、1冊の本を完成させます。めくるたびに発見があるアートブックを作ってみましょう。

日程＝10/3⑤（全1回） 時間＝10:10-13:00

定員＝20名（抽選） 参加費＝4,000円（材料費含む） 申込期間＝9/9⑥～9/16⑥

1月 モノタイプ版画にチャレンジ！

1回 小学校1・2・3年生

当館エドゥケーター

1つの版から1枚だけのイメージを刷り上げる版画を、「モノタイプ」といいます。インクをのせた小さな銅板に、割りばしやヘラで絵や模様を描き、プレス機で紙に写して作品をつくり出します。完成した作品を見てみると、反転することで思いがけない形があらわれ、版画ならではの偶然の出会いがたくさん。はじめての刷り体験を楽しみながら、版画の世界を少しのぞいてみませんか。

日程＝1/31⑤（全1回） 時間＝14:30-16:00 定員＝20名（抽選）

参加費＝2,500円（材料費含む） 申込期間＝1/8⑤～1/15⑤



2月 コンクリートのオブジェをつくろう！

3回 小学校4・5・6年生

当館エドゥケーター

建物をつくるときに使われている「コンクリート」でも、作品が作れるんです！ねんどで好きな形をつくり、石膏で型を取って、その中にセメントを流し込めば、コンクリートのオブジェ（立体作品）が完成！「コンクリートってどんな素材？」そんな疑問に答える豆知識も紹介します。頭の中で思い描いた形を、自分の手で触れられる作品にしていこう、立体制作ならではの面白さを体験してみましょう。

日程＝2/7・14・28⑤（全3回） 時間＝2/7 14:00-16:30、2/14・28 14:00-16:00

定員＝10名（抽選） 参加費＝7,000円（材料費含む） 申込期間＝1/15⑤～1/22⑤



アクセス プログラム

事前申込制 有料 団体利用不可

美術館に来るのがはじめての就学前の子どもたちや、障がいの有無にかかわらず、アートをもっと楽しみたい子どもたちが、家族とともに参加できるプログラムです。おうちとは違った環境でのものづくりや鑑賞体験を通して子どもたちの興味や関心をひろげるとともに、アートと美術館をより身近に感じてもらうことを目指します。



はじめての造形あそび 家族 年少児から年長児

年少児から年長児までの未就学児とその保護者を対象とした、素材に出会う時間です。

エドゥケーターが講師となって素材の楽しみ方をレクチャーします。家族と一緒にいろいろな素材や道具に触れてみませんか？

絵の具コースでは水彩絵の具を使います。筆を使って点々を描いたら、次は線を描いて、丸を描いて、と筆の使い方を学びましょう。

粘土コースでは土粘土を使います。ちぎったり、まるめたり、はだして踏んでみたり。身体全部を使って粘土の特性を知りましょう。

日程＝絵の具コース 12/5④、粘土コース 12/6④

時間＝10:15～11:45

対象＝未就学児（年少児から年長児）とその保護者

定員＝各回25組程度〔1組5名まで〕（抽選）

参加費＝絵の具コースひとり700円 粘土コースひとり500円

（子ども・大人共通料金、当日現金支払い）

申込期間＝絵の具コース 11/20④～11/27④ 粘土コース 11/21④～11/28④

参加者以外の入場、見学はできません。

安全面への配慮から、抱っこ紐等を使用しての乳児の同伴はできません。

のびのび造形じかん 家族 小学生

個別支援学級や特別支援学校に通う小学生とその家族を対象とした、自由な創作の時間です。

大きな紙に筆や手などを使って絵の具でお絵描きしたり、重たい土粘土をこねたり。触れて楽しむ色水袋や不思議な音の出るオブジェなど、さまざまな仕掛けを用意しています。それぞれのペースでゆっくりじっくり楽しむことができます。

素材との出会いや人とのかわりを通して、子どもたちの感覚をひらきます。

日程＝10/17・11/28・12/19・1/23・2/20・3/13④（月1回）

時間＝10:15～11:30

対象＝個別支援学級、特別支援学校等に通う小学生とその保護者、きょうだい

定員＝各回20組程度〔1組5名まで〕（抽選）

参加費＝ひとり400円（子ども・大人共通料金、当日現金支払い）

申込締切＝各開催日の10日前



撮影：加藤甫

みんなの フリーゾーン

事前申込制 先着順 有料 団体利用不可 家族

子どもたちが、さまざまな素材を使って描いたりつくったりすることができるプログラムです。粘土、絵の具、紙の3つのコーナーで自由に造形活動に取り組むことができます。自分で素材を選び、つくってみることを通して、子どもたちの自主性を育むことを目指します。

道具をひとりで使うことができる年少児からの参加がおすすめです。

どんなことができるの？

●ねんどコーナー

陶芸に使う粘土に水を加え、よく練って、子どもたちがちぎったりまるめたりしやすくしています。

自然の素材である土の粘土は、思わず触れたいくなるなめらかさと、思った形をすぐにつくれる自由さが魅力です。

机を粘土板代わりに、たくさん粘土を使ってダイナミックに作品づくりに取り組んでみましょう。



撮影：加藤甫



撮影：加藤甫

●えのぐコーナー

赤・青・黄・白の4つの色を基本に使います。

自分の身体より大きな画面に思い切り絵を描くことができます。

気候の良い時期は、屋外の中庭で、お絵描きや好きな色をつくる色水遊びが楽しめます。暑い日や寒い日、雨の日は室内で実施します。

絵の具で汚れてもよい服装と靴でご参加ください。

●かみコーナー

色紙や段ボール紙など、色や厚さ、手触りが異なる紙などの素材を使って自由に工作ができます。

ハサミを使って好きな形に切ったり、のりやステープラー、テープで貼りあわせたりして、自分だけのアイデアを自由に形にしてみましょう。

作品はおうちにもって帰って、飾ったり遊んだりできます。



撮影：加藤甫

●開催時間

10:15-11:30

●対象

小学生以下の子どもとその保護者

※団体でのご参加はできません。 ※お友だち同士の連名での申し込みはできません。

●定員

各回120組程度 [1組5名まで] (先着順)

※保護者・同伴の乳児を含むすべての人数でお申し込みください。

※安全面への配慮から、必ず保護者の方もご参加ください。

●参加費

ひとり400円 (子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

※釣銭のないようご注意ください。

●申込期間

各開催日1週間前の12時から ※定員に達し次第、申し込みを終了します。

●開催日カレンダー

2026年	日曜日
10月	4日・11日・18日
11月	15日・22日・29日
12月	13日・20日

2027年	日曜日
1月	17日・24日・31日
2月	14日・21日・28日
3月	7日・14日・21日

●講師・アーティストの紹介



● 常田泰由 ときた・やすよし

木版画やアートブックの制作を中心に、作品を国内外で発表。宮城県美術館、町田市立国際版画美術館などで、子どもから大人までを対象とした版画やアートブックのワークショップを多数開催している。現在、東京造形大学絵画専攻助教。

予告 今年も開催！ぐるりアトリエ見学会2026

横浜美術館には、小学校6年生までの子どもたちを対象とした「子どものアトリエ」、12歳以上の方を対象とした「市民のアトリエ」があります。どちらの施設も普段はプログラムに参加する人しか中に入ることができません。そこで、両アトリエを公開する特別なイベント「ぐるりアトリエ見学会」を今年も開催します！詳しくは横浜美術館ウェブサイトをご覧ください。

日程＝11/1⑩・3⑩⑪

時間＝10:30-16:00

会場＝子どものアトリエ、市民のアトリエ

対象＝どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

入場無料、事前予約不要



申込方法

ウェブサイトの各プログラムの「申込フォーム」からお申し込みください。

◎きょうだいで対象年齢が該当する場合は、連名でお申し込みいただけます。ただし、お友だち同士の連名での申し込みはできません。

◎応募者多数の場合は抽選となります。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」（自動返信）をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申し込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。

※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 子どものアトリエ

Tel. 045-221-0300 受付時間10:00-18:00

休館日＝木曜日（9/24、11/19、2/11は開館）、12/29-1/3

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

●アクセス

○みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅〈3番出口〉から、マークイズみなとみらい〈グランドギャラリー〉経由徒歩3分

○JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から〈動く歩道〉を利用、徒歩10分

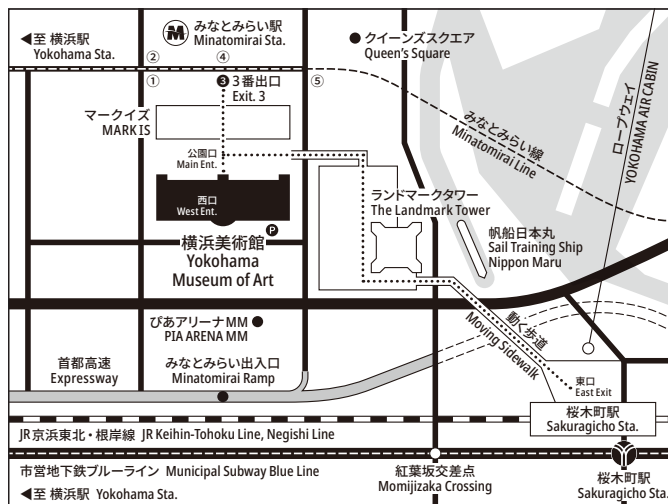
○駐車場（10:00-21:00、台数157台）最初の90分は500円、以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引（最初の90分無料）があります。

●乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

